



JICA海外協力隊 事業概要

いつか世界を変える力になる。



JICA海外協力隊





これまでの青年海外協力隊の「隊旗」として活用されていたマークが、改めてJICA ボランティア事業のシンボルマークに制定されました。2018年2次隊より、派遣前訓練の修了時に隊旗をモチーフにしたバッジ（左記）がJICA 海外協力隊員へ配布されています。このバッジは、公の場や活動などで適宜着用されます。



目次

1. JICA 海外協力隊の目的 …………… P3
2. JICA 海外協力隊のあゆみ …………… P4
3. JICA 海外協力隊の種類 …………… P5
4. 応募・選考・派遣までの流れ …………… P6
5. 活動分野と職種 …………… P7
6. 応募までの道のり …………… P8
7. 待遇と諸制度 …………… P9
8. 健康と安全 …………… P11
9. 帰国後の進路 …………… P13
10. 派遣実績 …………… P15
11. お問い合わせ …………… P17

1

JICA 海外協力隊の目的

JICA 海外協力隊とは、開発途上国からの要請に基づき、青年海外協力隊等として派遣され、現地の人びとと共に途上国の課題解決に取り組むことを目的としています。任期は原則 2 年間で、これまで世界 91 か国に 5 万人以上の隊員を幅広い分野に派遣してきました。帰国後は、日本や世界で協力隊経験を生かした活躍が期待されています。

3 つの主な目的

開発途上国の
経済・社会の発展、
復興への寄与



よりよい明日を世界の人々と共有するため、日本が持つ技術や経験を伝え、開発途上国の人々に役立ててもらいます。

異文化社会
における
相互理解の
深化と共生



JICA 海外協力隊が現地の人々を理解していくように、現地の方にも、JICA 海外協力隊を通じて日本が理解され、共生・協働が行われるようになります。深化する相互理解と共生の営みにより持続可能な開発の実現を目指していきます。

ボランティア経験の
社会還元



隊員には、本事業への参加を通じて身に付けた知識や経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。JICA は、隊員が経験を社会還元する取り組みを支援していきます。



2

JICA海外協力隊のあゆみ

1965年、青年海外協力隊の初代隊員がラオスに派遣されてから、50年以上が過ぎました。青年海外協力隊を始めとする幅広い世代の方が、本事業へ参加しています。

1960年代

- 1965年 ● 日本青年海外協力隊
：現青年海外協力隊事務局開設（市ヶ谷）
初の協力隊員派遣（ラオス）
- 1966年 ● アフリカに協力隊員派遣開始（ケニア）
- 1968年 ● 広尾に協力隊事務局移転
● 広尾訓練所開設
● 中米に協力隊員派遣開始（エルサルバドル）



1970年代

- 1972年 ● 大洋州に協力隊員派遣開始（西サモア）
- 1974年 ● 特殊法人国際協力事業団（JICA）設立
● 日本青年海外協力隊を「青年海外協力隊」と改称
- 1978年 ● 南米に協力隊員派遣開始（パラグアイ）
- 1979年 ● 駒ヶ根訓練所開設（長野県）

1980年代

- 1985年 ● 青年海外協力隊発足 20 周年記念式典開催
● 海外開発青年（日系社会青年ボランティアの前身）事業開始

1990年代

- 1990年 ● 青年海外協力隊の累計派遣人数が 1 万人突破
● シニア協力専門家（シニア海外ボランティアの前身）事業開始
● 移住シニア専門家（日系社会シニア・ボランティアの前身）事業開始
- 1992年 ● 東欧に協力隊員派遣開始（ハンガリー）
- 1994年 ● 二本松訓練所開設（福島県）
- 1995年 ● 青年海外協力隊発足 30 周年記念式典開催
- 1996年 ● シニア協力専門家を「シニア海外ボランティア」と改称
海外開発青年を「日系社会青年ボランティア」、
移住シニア専門家を「日系社会シニア・ボランティア」と改称

2000年代

- 2000年 ● 青年海外協力隊の累計派遣人数が 2 万人突破
- 2003年 ● 独立行政法人国際協力機構（JICA）発足
- 2005年 ● 青年海外協力隊発足 40 周年記念式典開催
- 2007年 ● 青年海外協力隊の累計派遣人数が 3 万人突破
- 2008年 ● JBIC の海外経済協力業務と外務省実施の無償資金協力が JICA と統合

2010年代

- 2010年 ● 累計派遣人数が 4 万人突破
- 2015年 ● 青年海外協力隊発足 50 周年記念式典開催
- 2016年 ● 青年海外協力隊が「ラモン・マグサイサイ賞」を受賞
- 2017年 ● 累計派遣人数が 5 万人突破
- 2018年 ● 制度変更し、総称を「JICA 海外協力隊」に改める

3

JICA 海外協力隊の種類

JICA 海外協力隊（長期派遣）への応募は、「一般案件」と「シニア案件」の2つの応募区分です。応募区分によって JICA 海外協力隊の種類（呼称）が異なります。

■一般案件（広く職種で応募する区分）

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という強い意欲を持つ方が職種を選んで応募します。合格された案件により、派遣呼称が決まります。なお、一般案件で派遣される46歳以上の方は、海外協力隊として派遣されます。
募集期：春募集・秋募集の年2回 派遣期間：1～2年 対象年齢：20歳～69歳 ※46歳～69歳は一部の案件のみ応募可能

年齢	種類（呼称）	概要
20～45歳の方	青年海外協力隊	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力しています。
46～69歳の方	海外協力隊	
20～45歳の方	日系社会青年海外協力隊	中南米の日系社会で、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展のために協力しています。
46～69歳の方	日系社会海外協力隊	

■シニア案件（一定以上の経験・技能等が必要な個別案件へ応募する区分）

「自分の持っている専門的な技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という、より専門性の高い案件を選んで応募します。合格された案件により、派遣呼称が決まります。
募集期：春募集・秋募集の年2回 派遣期間：1～2年 対象年齢：20歳～69歳

年齢	種類（呼称）	概要／活動分野
20～69歳の方	シニア海外協力隊	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力しています。
	日系社会シニア海外協力隊	中南米の日系社会で、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展のために協力しています。

上記4種類の JICA 海外協力隊の他に短期派遣の JICA 海外協力隊もあります。

種類	JICA 海外協力隊（短期派遣）
概要	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東の国々で1カ月から1年未満の活動を行います。
活動分野／職種（例）	コミュニティ開発、コンピュータ技術、野菜栽培、自動車整備、経営管理、青少年活動、スポーツ全般、理科教育、小学校教育、看護師、感染症・エイズ対策、障害児・者支援など
募集期／派遣期間	3月～、8月～、11月（予定）／1カ月～1年未満
対象年齢	20～69歳

▶さらに詳しくは WEB へ JICA 海外協力隊 TOP 【<https://www.jica.go.jp/volunteer/>】

4

応募・選考・派遣までの流れ

ご応募いただいてから約3ヵ月間の選考を経て、合格者を決定し、同時に派遣時期（隊次）と派遣国も決定します。合格者は派遣前に訓練を受けてから出発します。なお、1年未満の短期派遣につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

選考について

以下の選考過程を通じて、人物、技術、語学、健康、適性の観点で総合的に審査を行います。

- 一次選考：書類選考
- 二次選考：面接
- 適性審査（Web版、自宅受験可）

派遣前訓練参加前から派遣までの流れ(予定)

応募期間	2019年秋募集			2020年春募集		
	2019年 8月～9月			2020年 2月～4月		
一次選考(書類)	10月～11月			4月～5月		
一次合否通知	11月			5月		
二次選考	12月			6月		
二次合否通知	2020年 2月			7月		
派遣隊次	2020年 1次隊	2020年 2次隊	2020年 3次隊	2020年 2次隊	2020年 3次隊	2021年 1次隊
派遣前訓練	2020年 4月下旬～ 2020年 7月上旬	2020年 9月上旬～ 2020年 11月中旬	2021年 1月上旬～ 2021年 3月中旬	2020年 9月上旬～ 2020年 11月中旬	2021年 1月上旬～ 2021年 3月中旬	2021年 4月上旬～ 2021年 7月上旬
出 発	2020年 7月～8月	2020年 11月～12月	2021年 3月～4月	2020年 11月～12月	2021年 3月～4月	2021年 7月～8月
派 遣	原則2年間					
帰 国						

派遣前訓練・研修について

合格者は、原則として現地での活動に必要な語学力、実務能力、危機管理能力等を身に付けるために、約70日間の派遣前訓練を受講していただきます。訓練は、長野県駒ヶ根市または福島県二本松市における青年海外協力隊訓練所において寝食を共にしながら合宿形式で行われます。

5

活動分野と職種

JICA 海外協力隊のシゴトは以下の 9 つの分野に大別され、120 以上の職種があります。

計画・行政

国・地域づくりに
関わるシゴト

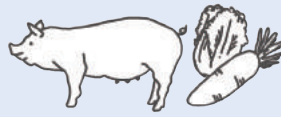
- コミュニティ開発
- コンピュータ技術
- 防災・災害対策 など



農林水産

食べ物や自然に
関わるシゴト

- 野菜栽培 ● 家畜飼育
- 食用作物・稲作栽培
- 土壌肥料 など



鉱工業

ものづくりに
関わるシゴト

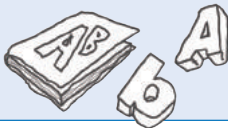
- 自動車整備
- 建設機械
- 食品加工 ● 金属加工 など



人的資源

教育やスポーツなど
人を育てるシゴト

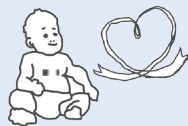
- 小学校教育 ● 体育
- 各スポーツ職種
- 青少年活動 ● 環境教育
- PC インストラクター
- 日本語教育 ● 幼児教育 など



保健・医療

いのちに寄り添うシゴト

- 看護師
- 感染症・エイズ対策
- 理学療法士
- 病院運営管理 など



社会福祉

福祉に関わるシゴト

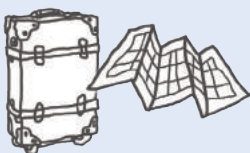
- ソーシャルワーカー
- 障害児・者支援
- 高齢者介護 など



商業・観光

マーケティングや観光に
関わるシゴト

- 観光
- 経営管理 など



公共・公益事業

生活サービスに
関わるシゴト

- 土木 ● 廃棄物処理
- 建築 など



エネルギー

エネルギーに
関わるシゴト

- 電力
- 再生可能・省エネルギー など



6

応募までの道のり

応募を検討するにあたって、不安や知りたいことなどがあると思います。

- 語学力はどのレベルが必要なの？ ● 自分にあったシゴトはどうやって探したらいいの？
- 実際に応募する際、どんな準備が必要なの？

JICA 海外協力隊ウェブサイトではあなたの不安を解消する様々な情報を掲載しています。



JICA 海外協力隊ウェブ

トップページ ▶

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

STEP 1 まずは応募するための基本的な情報を知ろう

ウェブサイトトップページの「応募を検討する」タブを選択後、「募集情報」を参照してください。

- ・ 協力隊の種類
 - ・ 応募資格
 - ・ 応募期間
 - ・ 応募方法
 - ・ 応募時の注意事項
 - ・ 応募の際に必要な書類
 - ・ 応募から派遣までのスケジュール
- 等の基本情報が掲載されています。

- 応募資格や応募締切、応募書類作成上の注意点について確認しましょう。
- 応募から選考まで、合格から派遣までのスケジュールも確認しましょう。



STEP 2 自分にあったシゴトを探そう

どんなシゴトがあるんだろう？自分にできるシゴトがあるか分からない。JICA 海外協力隊のシゴトは「募集情報」ページの「シゴトを探す」のタブから探すことができます。*外部サイトに移動します

- ・ 20歳以上の方が応募できるシゴト(一般案件)
- ・ 一定以上の経験・技能等が必要なシゴト(シニア案件)

シゴト選びの参考

一部のシゴト(職種)について、よくある質問などをまとめたページを用意しています。ウェブサイトトップページの「応募を検討する」タブにある「まずはシゴトを知る」に進んでいただき、知りたいシゴト(職種)をご参照ください。

JICA 海外協力隊の種類



STEP 3 応募をする

締め切り前はウェブサイトへのアクセス集中が予想され、応募完了に時間を要する場合がありますので、時間に余裕を持った応募をお願いいたします。

7

待遇と諸制度

JICA 海外協力隊の活動は自発的参加の精神に基づき行われますが、受入国での活動をよりスムーズで効果的なものにするため、JICA は以下のような支援を行っています。

待遇

現地生活費

受入国での生活費は、JICA が、国ごとに定めた金額を支給します。この金額は、JICA 海外協力隊としての趣旨に基づき、受入国の住民と同等程度の生活を営むに足る金額を、物価、為替変動等を勘案の上、定めています。なお、この生活費は、あくまでも現地での生活費の補助であって、給料や報酬ではありません。

住居費

住居は、原則として受入国政府または配属機関が提供することになっていますが、国によっては適当な住居の提供がなく、現地の JICA 事務所の協力のもと、適切な住居を探して借りる場合もあります。その場合、現地生活費とは別に、国・地域毎に定められた上限額の範囲内で JICA が住居費を負担します。なお、国によっては JICA 海外協力隊、他国ボランティア、現地の方と住居をシェア（寝室は各個人専用）する場合や、ホームステイになる場合もあります。

往復渡航費

日本と受入国との往復にかかる赴任時の旅費（航空賃・交通費・日当・宿泊費等）は、JICA が負担します。

現地業務費

受入国での配属先が抱える様々な問題の中には予算的な問題もあり、効果的な活動が期待できない場合があります。この状況を先方の自助努力を促しつつ解決するために、JICA が活動経費を一部支援する場合があります。



諸制度

活動支援依頼制度

隊員が活動中、技術面で困難な問題に直面した場合などに、各分野の技術に精通している専門の方々からアドバイスを求めることができます。

休暇の取得及び一時帰国制度

隊員の休日や休暇の取得方法は、配属先の決まりに従うこととなります。また、配属先の有給休暇の日数内で JICA の定める日数を限度として、私費による任国外旅行が認められており、この範囲内で日本へ帰国することもできます。なお、取得条件等の詳細は、派遣前訓練で改めて説明します。

配偶者及び子女の一時呼寄せ制度

JICA 海外協力隊は、単身で派遣されますが、JICA の旅費補助（一部は自己負担）を受けて配偶者や子女を一時的に呼寄せることができます。なお、日数等について一定の条件が定められています。

国内手当

無給休職または無職の方には、派遣前訓練中や派遣中に国内で支出が必要な経費等に役立てるために手当を支給します。なお派遣時点で65歳以上の方は、支給対象外です。

協力活動完了金

無給休職または無職の方には、当初の派遣期間を満了した場合に、協力活動完了金を支給します。

経験者手当

シニア案件に派遣される方には、経験者手当を支給します。有給休職・無給休職・無職の別を問いません。

現職参加について

現在職業を持っている方の場合、休職などの形で所属先に身分を残したまま参加することは、帰国後の就職のことを考えても望ましいことといえます。JICA では、企業や官庁など関係各方面に対して、所属先に身分を残したまま参加する「現職参加」促進の願いをしており、2018年度秋募集期からは「所属先による雇用継続を支援するための『現職参加促進費』」を導入する等、より現職参加しやすくするための制度を設けています。また、「派遣期間選択制度」も設けています。現職参加を希望する方は、応募することについてあらかじめ所属先の上司などに相談されることを強くお勧めします。また、JICA から直接、所属先に制度を説明することも可能ですので適宜ご相談ください。

国民年金への加入

派遣中の隊員は「海外居住者」扱いとなり、任意で国民年金に加入することになります。未加入であると、当該未加入期間は、年金額の算出の際に除外され、年金が減額されたり、派遣中の事故に起因する後遺症について障害基礎年金が受け取れないなどの不利益が生じる場合がありますので、JICA は、出発前に加入手続きを行うことを強く勧奨しています。なお、手続きは隊員ご自身が行なうことになっておりますので、詳細はお近くの年金事務所などにご確認ください。

海外在住の方について

海外にお住まいの方が JICA ボランティア事業に応募される場合、二次選考の日本までの旅費は応募者の負担となります。なお、海外にお住まいの方の内、JICA に「海外居住者」と認定された方は、派遣前訓練参加旅費及び赴任経費、諸手当等の待遇が日本にお住まいの隊員とは異なる点があります。また、「海外居住者」の方は生活の拠点がある国へ隊員として派遣されることはありません。「海外居住者」の要件等、詳しくは参加される場合の留意点の資料(ウェブサイトに掲載)をご参照ください。

健康と安全は、まず本人の意識と行動が基本ですが、現地では JICA スタッフが隊員の活動を様々な側面からサポートしています。

健康管理

途上国は日本とは異なり、感染症などの様々な健康リスクがあります。その中で活動する際に最も重要なことは「安全と健康は自分自身で自己管理し守ること」です。JICA では隊員が派遣期間を通して心身ともに健康な状態で活動ができるよう、様々な側面から隊員の健康を支援しています。

健康管理支援体制

受入国によっては日本の看護師免許取得者である在外健康管理員を配置し、派遣中の健康相談、健康診断、傷病への助言・指導などを行っています。また、保健・医療事情が様々な受入国において隊員がより信頼のおける医療が受けられるよう、必要に応じて現地医師と顧問医契約を結んでいます。派遣前訓練では健康管理についての講話、受入国で流行している感染症の情報提供、帰国後の健康診断の実施など、派遣前訓練から隊員の健康状態を把握し、帰国まで健康に活動できるようサポートしています。JICA では、様々な健康管理支援を行っていますが、途上国で活動する際に最も重要なことは「安全と健康は自分自身で管理し守ること」です。傷病を防ぐことも安全を守ることも協力活動の一部と認識し、安全と健康管理を常に心がけてください。

緊急移送

現地では対応できない傷病が発生した場合、契約の保険会社を通して、医療体制が整った国や都市に移送します。

予防接種

受入国／地域の必要性にあわせて予防接種を推奨しています。

- 狂犬病、破傷風、A 型肝炎、B 型肝炎
- 黄熱病（指定国のみ）
- ポリオ、日本脳炎（流行国のみ）

※過去の予防接種歴により個別に対応しています。

災害補償・共済制度

病気や怪我、障害、死亡等に備えて、次のような制度があります。

- JICA の災害補償制度
- 労災保険特別加入
- 国際協力共済会



安全対策

日本は世界の国々の中でも極めて治安の良い国の一つです。欧米先進国を含む各国、特に開発途上国においては一般犯罪、テロ、誘拐、クーデターなどが日本に比べて高い確率で発生しています。また、ほとんどが舗装路である日本と比べると多くの開発途上国の道路状況は良いとはいえません。加えて、整備不良の自動車が多く、運転マナーや交通事情の違う途上国では交通事故にも注意する必要があります。したがって、受入国で生活する場合には、各個人が犯罪や事故防止などしっかりした危機管理意識を持つことが重要になります。JICA では隊員が犯罪や交通事故に遭わないよう、以下のような安全対策を実施しています。

安全情報提供

派遣前訓練で任国事情や安全対策に関する講座を設け、現地の治安、交通状況等について説明しています。受入国到着後は、着任時オリエンテーションで受入国特有の状況や対策（犯罪防止策、交通安全対策、公共交通機関利用時の注意等）の説明を行い、さらに JICA 海外協力隊を含めた JICA 関係者が参加して開催する安全対策連絡協議会などを通して安全管理意識を高めています。

住居防犯対策

隊員の住居は原則として受入国政府または配属団体が提供することになっていますが、防犯のために扉や窓を補強する必要がある場合があります。このような補強は建物所有者が実施する場合のほかに、JICA が補強を支援したり、警備員を配置するなどにより住居の防犯を徹底しています。

通信連絡手段の確保

日本のように通信網が発達している開発途上国は多くありません。携帯電話、無線機や衛星携帯電話など、緊急時の連絡手段を確保しています。

渡航制限

JICA は各国の治安状況に応じて渡航制限を行っています。自分の受入国であっても立入禁止区域があったり、周辺国でも入国を制限する場合があります。

国外退避

選挙やクーデターなどで受入国の治安情勢が悪化し、JICA 関係者の安全確保が困難になると判断される場合には、受入国内の安全な場所への一時的な避難や国外退避（周辺国や日本）を行う場合があります。治安状況が安定しない場合には、任地や受入国を変更する場合があります。なお、外務省海外安全ホームページで各国の安全情報を見ることができますので、応募される方は確認することをお勧めします。

≫ さらに詳しくは WEB へ [JICA 海外協力隊 TOP](#) 【<https://www.jica.go.jp/volunteer>】 ▶ 募集情報 ▶ 【JICA の支援制度】 ▶ 健康と安全



JICA では円滑に進路開拓を進められるように、帰国した隊員の意欲を側面的に支援するため、帰国後研修・進路開拓セミナーといった研修を行い、進路相談にも対応しています。

JICA の支援体制

帰国後研修／ 自治体・企業向け 帰国報告会・ 交流会

帰国後研修では、今後、進路開拓や社会還元を行っていくために JICA 海外協力隊の経験の総括と整理、そしてその伝え方や実践方法について、ワークショップ形式で研修を行っています。また、研修終了後には、JICA 海外協力隊の採用に積極的な自治体や民間企業・団体の方々にお集りいただき、帰国報告会・交流会も実施しています。

進路開拓セミナー

様々な進路を目指す方々のニーズにお応えするために、民間企業、国際協力分野、自治体、教員など、テーマを決めて、有職者や先輩 OB/OG を講師としてむかえ、セミナーを定期的に行っています。

進路相談カウンセラー／ 青年海外協力隊相談役

全国に配置された進路相談カウンセラー／青年海外協力隊相談役が、進路についての相談にのるとともに、履歴書・職務経歴書の添削、就職・進学をはじめ各種情報の提供、帰国隊員の進路開拓をサポートします。

教育訓練手当

帰国した隊員の進路開拓に役立つ技術・技能の取得、または免許・資格の取得にあたり、JICA が支援する制度です。入学試験受験料や学費などに対し、進路開拓に役立つと判断された場合、その一部を補助します。

教員・自治体職員採用試験特別措置

近年、JICA 海外協力隊への参加経験を評価し、教員や職員の採用時に JICA 海外協力隊参加経験に配慮する地方自治体が増えてきています。次に示した自治体では教員採用や職員採用において JICA 海外協力隊等の国際貢献活動経験を特別に考慮していただける制度を有しています。

教員採用選考試験にお ける特別選考制度など (40自治体) 【2018年度実績】

茨城県、栃木県、埼玉県、さいたま市、千葉県、千葉市、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、山梨県、長野県、富山県、福井県、静岡県、浜松市、愛知県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、岡山県、岡山市、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、福岡市、佐賀県、長崎県、熊本県、熊本市、鹿児島県、沖縄県

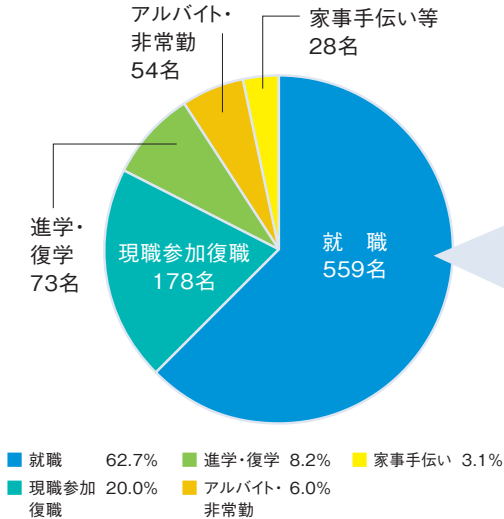
自治体職員採用試験にお ける特別選考制度など (82自治体) 【2018年度実績】

北海道、札幌市、旭川市、小樽市、帯広市、北見市、釧路市、千歳市、函館市、富良野市、当別町、新篠津村、青森県、青森市、岩手県、仙台市、野田村、秋田県、秋田市、仙北市、山形市、天童市、双葉町、境町、那珂市、小山市、群馬県、前橋市、埼玉県、所沢市、富士見市、吉川市、三芳町、千葉市、特別区(東京23区)、稲城市、神奈川県、横浜市、川崎市、新潟市、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、静岡市、磐田市、愛知県、豊橋市、京都府、京都市、和歌山県、広島市、三次市、愛媛県、松山市、今治市、宇和島市、徳島県、小豆島町、高知県、福岡県、北九州市、久留米市、飯塚市、直方市、嘉麻市、田川市、大野城市、宗像市、柳川市、広川町、佐賀県、小城市、長崎県、熊本県、熊本市、大分市、中津市、鹿児島県、鹿児島市

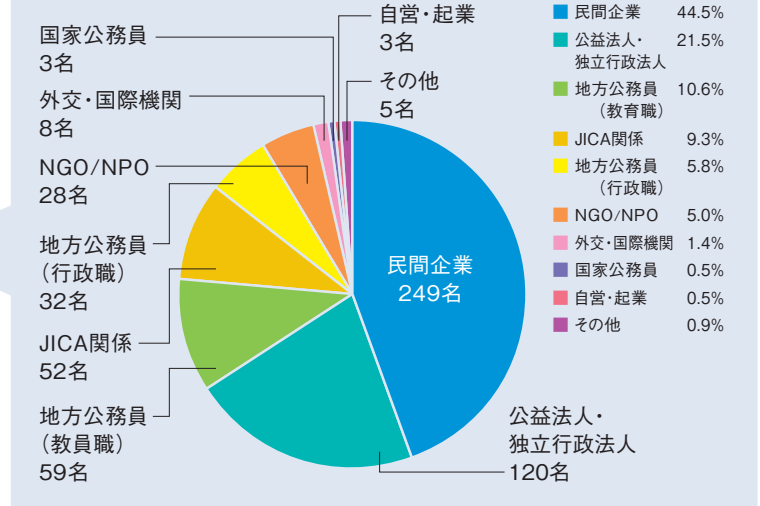
進路状況

※対象者：2016年4月1日～2017年3月31日までに帰国した青年海外協力隊および日系社会青年ボランティア（長期派遣） 対象帰国者数：1,095名 回答者数：892名（回答率81.5%）
※呼称は派遣当時のものです。

帰国隊員の進路状況（回答892名）



就職先内訳（対象559名）



就職先例

民間企業

アイ・シー・ネット(株)、江崎グリコ(株)、エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ(株)、(株)かいはつマネジメント・コンサルティング、国際航業(株)、(株)小松製作所、サイボウズ(株)、清水建設(株)、住友化学(株)、住友商事(株)、(株)ゼンショーホールディングス、テルモ(株)、日東電工(株)、日本工営(株)、富士通(株)、みかど協和(株)、(株)ミヨシグループ、矢崎総業(株)、八千代エンジニアリング(株)、ヤマハ発動機(株)など

公益法人

(公社)日本理学療法士協会、(公財)東京都環境公社、(公財)日本オリンピック委員会、(社福)青少年福祉センター、(学)早稲田大学、(学)中央大学、(学)日本体育大学、(学)近畿大学など

国家公務員

外務省、文部科学省、厚生労働省、環境省、防衛省、復興庁、法務省、国土交通省など

地方公務員（行政職）

北海道、東京都、神奈川県、静岡県、大阪府、兵庫県、佐賀県、長崎県、仙台市、町田市、横浜市、川崎市、京都市、神戸市、諫早市など

地方公務員（教員職）

東京都、大阪府、神奈川県、埼玉県、北海道、青森県、長野県、茨城県、千葉県、愛媛県、京都府、広島県、福井県、兵庫県など / 横浜市、京都市、さいたま市、相模原市、大阪市、堺市、名古屋市など

NGO/NPO

(特活)ピース・ウインズ・ジャパン、(特活)シェア=国際保健協力市民の会、地球市民の会、コミュニティ楽創

政府関係団体

(独)国際協力機構、(独)国際交流基金、(独)日本貿易振興機構、(国研)宇宙航空研究開発機構、(国研)科学技術振興機構、(国)帯広畜産大学、(国)筑波大学、(国)山形大学、(国)金沢大学、(国)京都大学、(国)徳島大学、(国)宮崎大学など

国際機関

国連開発計画(UNDP)、国連児童基金(UNICEF)、国連食糧農業機関(FAO)など

大学単位認定、大学院の入学時措置等

大学・大学院の受験枠・特別措置など

広島大学大学院、日本福祉大学、帯広畜産大学大学院、岐阜大学大学院、宮崎大学大学院、鹿児島大学大学院、埼玉大学大学院、新潟医療福祉大学大学院、東京農業大学大学院、早稲田大学大学院、杏林大学大学院、日本体育大学大学院、吉備国際大学大学院、鳴門教育大学大学院、鳥取大学大学院、宇都宮大学大学院など

大学・大学院の単位認定など（在学中の協力隊参加者が対象）

広島大学大学院、新潟医療福祉大学大学院、聖路加国際大学大学院、東洋大学大学院、東京農業大学大学院など

▶▶ さらに詳しくは WEB へ JICA 海外協力隊 TOP 【<https://www.jica.go.jp/volunteer/relevant/>】 ▶ 企業・自治体・学校関係者の方へ



国別派遣人数（派遣中）

（2019年4月30日現在）

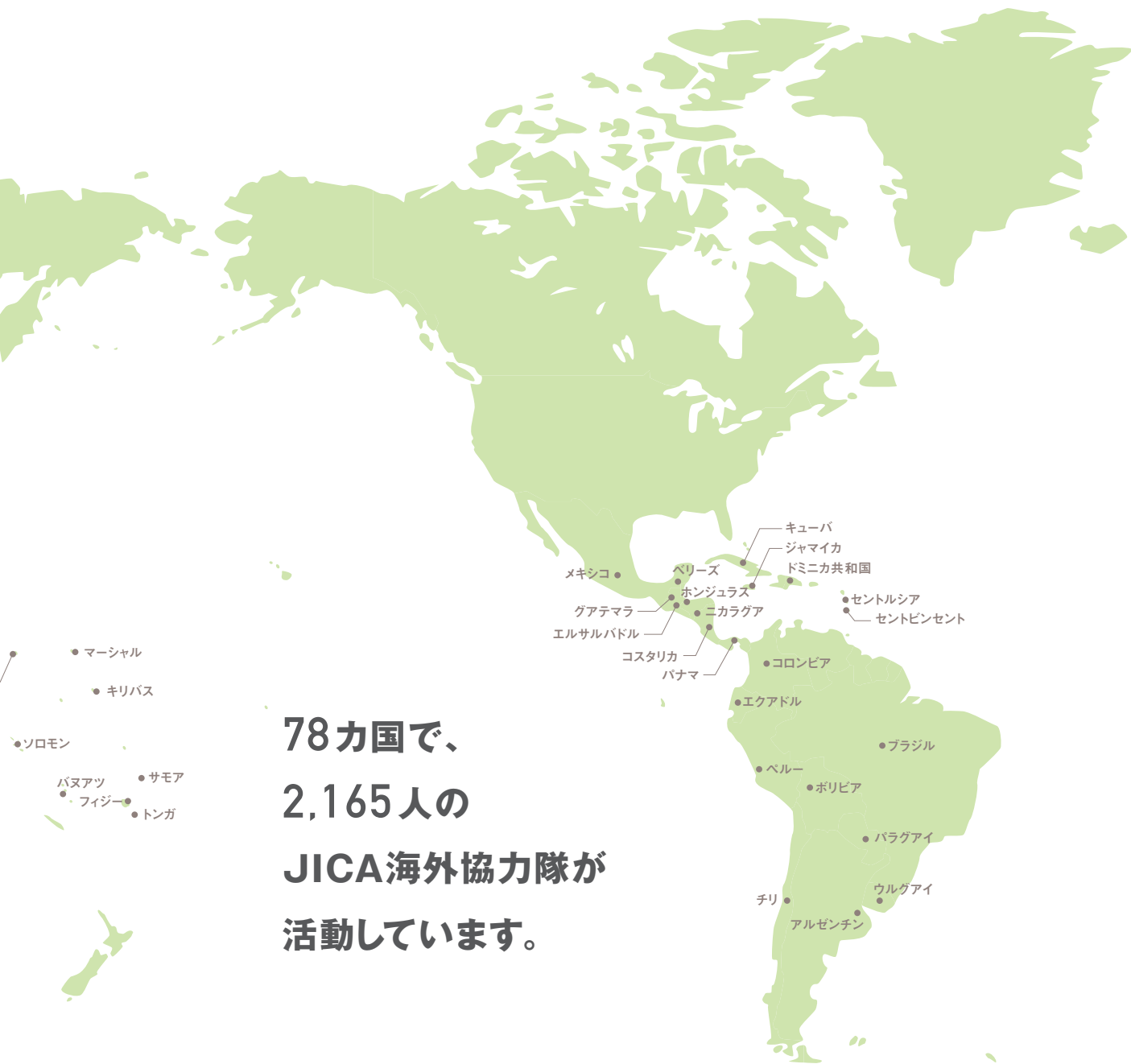
〈アジア地域〉				
インドネシア	12	2		
マレーシア	19	7		
フィリピン	28	2		
タイ	33	5		
カンボジア	26	10		
ラオス	38	3		
東ティモール	31			
ベトナム	39	16		
ミャンマー	9	4		
中華人民共和国	10			
モンゴル	38			
ブータン	18	6		
インド	13			
モルディブ	13			

ネパール	50	4		
スリランカ	39	1		
キルギス	26			
タジキスタン		3		
ウズベキスタン	25	7		

〈中東地域〉				
ヨルダン	28			
エジプト	14	3		
モロッコ	21	6		

〈アフリカ地域〉				
スーダン	20			
ボツワナ	12			
エチオピア	30			

ガーナ	51	2		
ケニア	42	6		
レソト	1	1		
マラウイ	56			
ナミビア	13			
南アフリカ共和国	5	6		
エスワティニ	4	1		
ウガンダ	41	2		
タンザニア	59	3		
ザンビア	78	12		
ジンバブエ	5			
ベナン	47			
ブルキナファソ	17			
カメルーン	22	1		
ジブチ	11			



78カ国で、
2,165人の
JICA海外協力隊が
活動しています。

各国の表は以下の人数を表します。 ●青年海外協力隊 ●シニア海外協力隊 ●日系社会青年海外協力隊 ●日系社会シニア海外協力隊

ガボン	18	9		
マダガスカル	34			
モザンビーク	37	3		
ルワンダ	41			
セネガル	42	3		

〈北米中南米地域〉				
ベリーズ	15			
コスタリカ	23	10		
キューバ		1		
ドミニカ共和国	37	7	4	1
エルサルバドル	8			
グアテマラ	27	3		
ホンジュラス	27			
ジャマイカ	22	12		

メキシコ	2	9		
ニカラグア	1			
パナマ	14	1		
セントルシア	8			
セントビンセント	4			
アルゼンチン		18	6	8
ボリビア	41	2	2	
ブラジル			69	20
チリ	6	4		
コロンビア	15	14		
エクアドル	51	6		
パラグアイ	40	2	9	3
ペルー	44	5		
ウルグアイ		7		

〈大洋州地域〉				
フィジー	24	3		
キリバス	7			
マーシャル	8	1		
ミクロネシア	7	9		
パプアニューギニア	30	5		
ソロモン	33	5		
トンガ	14	2		
バヌアツ	20	4		
サモア	22	1		
パラオ	10	5		

〈欧州地域〉				
セルビア	1	2		

JICA 海外協力隊募集事務局

TEL	E-MAIL	住所	受付時間
03-6734-1242	contact@jocv.info	〒100-8228 東京都千代田区大手町2丁目6-2 5F	10:00~12:00/13:00~17:00 (土日祝日を除く)

国内拠点

名称	TEL・FAX	E-MAIL	住所	所轄地域
JICA北海道(札幌) (北海道センター(札幌))	TEL:011(866)8421 FAX:011(866)8382	hkictpp@jica.go.jp	〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25	北海道(道央・道北・道南)
JICA北海道(帯広) (北海道センター(帯広))	TEL:0155(35)1210 FAX:0155(35)1250	jicaobic@jica.go.jp	〒080-2470 北海道帯広市西20条南6-1-2	北海道(道東)
JICA東北 (東北センター)	TEL:022(223)4772 FAX:022(227)3090	jicathic-jv@jica.go.jp	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階	青森県・岩手県・宮城県・ 秋田県・山形県
JICA二本松 (二本松青年海外協力隊 訓練所)	TEL:0243(24)3200 FAX:0243(24)3214	jicanjv-bk@jica.go.jp	〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2	福島県
JICA筑波 (筑波センター)	TEL:029(838)1117 FAX:029(838)1776	jicatbic@jica.go.jp	〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6	茨城県・栃木県
JICA東京 (東京センター)	TEL:03(3485)7461 FAX:03(3485)7025	tictpp1@jica.go.jp	〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5	群馬県・埼玉県・千葉県・ 東京都・新潟県
JICA横浜 (横浜センター)	TEL:045(663)3220 FAX:045(663)3265	yictpp@jica.go.jp	〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1	神奈川県・山梨県
JICA駒ヶ根 (駒ヶ根青年海外協力隊 訓練所)	TEL:0265(82)6151 FAX:0265(82)5336	jicakjv-jocv@jica.go.jp	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15	長野県
JICA北陸 (北陸センター)	TEL:076(233)5931 FAX:076(233)5959	jicahric@jica.go.jp	〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファレオオフィス棟4階	富山県・石川県・福井県
JICA中部 (中部センター)	TEL:052(533)0220 FAX:052(564)3751	jicacbic@jica.go.jp	〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7	静岡県・岐阜県・ 愛知県・三重県
JICA関西 (関西センター)	TEL:078(261)0352 FAX:078(261)0357	jicaksic-jocv@jica.go.jp	〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2	滋賀県・京都府・大阪府・ 兵庫県・奈良県・和歌山県
JICA中国 (中国センター)	TEL:082(421)6305 FAX:082(420)8082	jicacic-jocv@jica.go.jp	〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 ひろしま国際プラザ内	鳥取県・島根県・岡山県・ 広島県・山口県
JICA四国 (四国センター)	TEL:087(821)8824 FAX:087(822)8870	jicaskic@jica.go.jp	〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階	徳島県・香川県・ 愛媛県・高知県
JICA九州 (九州センター)	TEL:093(671)6311 FAX:093(671)0979	jicakic@jica.go.jp	〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1	福岡県・佐賀県・長崎県・ 熊本県・大分県・宮崎県・ 鹿児島県
JICA沖縄 (沖縄センター)	TEL:098(876)6000 FAX:098(876)6014	oictpp@jica.go.jp	〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1	沖縄県

応募者必見! お役立ちウェブサイト



JICA 海外協力隊に応募するうえで役に立つ JICA のウェブサイトをご紹介します。

「JICA 海外協力隊」ウェブサイトトップページ ▶▶▶ <https://www.jica.go.jp/volunteer/>

JICA 青年海外協力隊事務局公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicavolunteer>

青年海外協力隊事務局の公式 Facebook ページでは、JICA 海外協力隊に関するさまざまな情報をお伝えしています。派遣中の隊員の活動、テレビなどのメディアへの登場、募集などに関する情報を随時投稿。ぜひ「いいね!」をお待ちしています。



JICA 青年海外協力隊事務局公式 Twitter

<https://twitter.com/jocvjimukyoku>

派遣中の隊員の活動や生活の様子、派遣各国の話題、日本国内で開催されるイベントなど、JICA 海外協力隊に関する様々な情報を「やわらかめ」につぶやいています。ぜひフォローをお願いします。



YouTube / JICA 青年海外協力隊公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/jicajocvsv>

JICA 海外協力隊経験者が登場する WEB 説明会の模様、派遣前訓練や活動の様子、帰国後の活躍、過去発信された番組のアーカイブなど、JICA 海外協力隊に関する様々な動画を公開。



JICA 海外協力隊の世界日記

<http://world-diary.jica.go.jp>

各国で活躍している JICA 海外協力隊が活動や生活、人との交流、現地の文化・風習などをブログ形式で発信しています。JICA 海外協力隊の日常やリアルな思いを感じることができる投稿が満載です。



JICA 海外協力隊の人とシゴト

<https://www.jica.go.jp/volunteer/people/>

JICA 海外協力隊への参加をどのように決断し、現地でのどのような「シゴト」に取り組み、帰国後はどのような生き方をしているのか。経験者たちに派遣前から帰国後に至るまでのそれぞれの物語を語っていただいています。



マンガで知る青年海外協力隊

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

青年海外協力隊員たちの参加のきっかけ、現地での活動や気持ちの変化、帰国後の進路など、体験をマンガにしてお紹介しています。フリガナを付け、わかりやすい言葉で表現しているため、小・中学生を含めて誰にでも楽しんでいただけます。



サポーター宣言 ~青年海外協力隊を応援します!~

<http://supporter.jica.go.jp>

民間の企業や団体、自治体、教育機関などによる JICA ボランティア事業との連携の事例を掲載。経験者が持つグローバル人材としての資質を評価し、社員としての採用に積極的な企業からの声などを知ることができます。



※上記ウェブサイトは変更の可能性があります。予めご了承ください。

いつか世界を変える力になる。



独立行政法人 国際協力機構(JICA)
青年海外協力隊事務局

—— JICA 海外協力隊ウェブ ——
トップページ ▶ <https://www.jica.go.jp/volunteer>



2019年7月